

2020年7月26日

新型コロナウイルス感染防止対策(別添)

大会に参加するチームの責任者は、感染防止のために主催者が決めた次の措置を遵守するとともに、主催者の指示に従うこと。

1. 感染対策責任者等

- ① 各チームは、「チーム感染対策責任者」を定めること。
- ② チーム感染対策責任者は、試合の都度、「参加チームチェックリスト」(別添1)を運営本部に提出すること。
- ③ チーム感染対策責任者は、帯同を求めた全ての選手やスタッフ等について、「健康チェック(参加チーム個人用)」(別添2)を運営本部に提出すること。

2. 選手やスタッフ

- ① 「会場」に入ることのできるのは、参加申込書に記載した選手・スタッフ、及び大会運営担当者のみ。
それぞれの「会場」の定義については、運営責任者に確認すること。
- ② 会場の入り口で体温測定を行い、37.5度以上の選手・スタッフ等は会場への入場を禁止する。

③ 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に留意すること。

④ 選手やスタッフが以下の事項に該当する場合は、参加を見合わせる
と。

○体調がよくない場合（例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）

○同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

○過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされ
ている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

⑤ 選手やスタッフは、試合中はもとより、会場に到着した後から会場を
離れるまで、大きな声で会話や応援等をしないこと。

⑥ ミーティング等においては、三つの密を避けること。

⑦ 運営本部の往来は、各チーム1名(不特定)とすること。

⑧ 更衣室は、勝手に使用しないこと。運営本部が決めた時間帯のみ選手
の使用を認める。

3. マスクの着用等

① 選手やスタッフは、マスクを着用すること。

② また、アップ開始から競技終了後10分後までの間については、選手
やスタッフはマスクを着用しないことができる。

③ ただし、夏期の気温・湿度が高い場合で、かつ、屋外で人と十分な距

離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、熱中症のリスクを考慮し、マスクを外すこと。

4. 消毒

- ① 各チームは、アルコール等の手指消毒剤を用意すること。また、必要に応じて、手洗い後に手を拭くためのマイタオルを持参すること。
- ② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- ③ 飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うこと

5. ベンチ

- ① ベンチにいる選手やスタッフは、常にマスクを着用すること。
- ② ベンチでの会話をできるだけ控えること。
- ③ 選手やスタッフの距離は、できるだけ2m以上確保すること

6. 観客・応援

- ① 次の事項を保護者等のチーム関係者に周知し、理解を深めること。
 - 施錠可能な会場の場合は、当面の間、観客の出入りを禁止する。
 - 施錠不可能など、観客の出入りを制限することができない会場の場合は、観客同士が密な状態とならないこと。

- 会場外からであっても大声での声援を送らないこと。
- マスクを着用すること。

7. その他

- ① 試合前の打ち合わせは原則として実施しない。事前に対戦チームでユニフォームの色を打ち合わせること。
- ② メンバー表3部及び登録選手証等は、会場に入る者を確認するため、当日、会場の入り口で実施する検温時に提出すること。
ただし、試合競技開始時間の30分前までメンバー変更は認める。